

大井川流域・牧之原大茶園景観形成行動計画の策定について

1 大井川流域・牧之原大茶園景観計画の策定状況

現在、静岡県と島田市、牧之原市など9市町で構成する「大井川流域・牧之原大茶園景観協議会」では、大井川流域・牧之原地域の良好な茶園景観の形成を目的とし、2019年度から具体的に取り組んでいく施策の方向性を定めた景観形成行動計画を策定するため、県及び周辺市町と連携して作業を進めている。

2 大井川流域・牧之原大茶園景観協議会の設立

本協議会は、平成20年度に設立した「牧之原茶園・空港周辺地域景観協議会」を発展的に拡充し、大井川流域及び牧之原大茶園周辺の景観を守り育て、静岡県が広域景観等の保全及び形成に関する施策の円滑な推進を図るため、平成29年7月に設立した。

3 取組の経過

H20.12.24	(前身) 牧之原茶園・空港周辺地域景観協議会協議会設立
H21～	屋外広告物のルールづくりの検討：地域独自の景観配慮例＝誘導基準づくり
H22.7～	牧之原茶園・空港周辺地域屋外広告物ガイドラインの策定
H23～	茶園景観に配慮した屋外広告物の色彩ガイドラインの策定
H23～	「継承したい茶園景観」への関心を高めるための活動
H25.4	「牧之原・大井川地域の継承したい茶園景観30選」決定、マップ作成、写真パネル展
H26.8	「ワーキングメンバーによる茶園30選」第2版作成
H27.12	景観形成に向けたワークショップを藤枝市の藤枝宿と茶町にて開催
H28	河川・海岸・集落の市街地の景観をテーマに全構成市町にてワークショップを開催
H29.7.3	大井川流域・牧之原大茶園景観協議会設立
H29	有識者の意見を聞きながら協議会2回、ワーキング2回を実施し、景観形成の方針を作成。
H30 (予定)	協議会3回、ワーキング4回を実施し、行動計画の策定に向けて検討を進める。

4 モデル地区

大井川流域・牧之原大茶園景観計画では、対象となる区域の中でも静岡県を代表する茶園景観をベースとして、良好な茶園景観単独又は大井川の景観や交通景観の連携により効果的に景観形成が進められる区域をモデル地区として定め、茶園景観を「守る（茶園の景観保全）、見せる（視点場の整備活用等）」、「活かす（地域資源等との連携により茶園景観の付加価値化）」への取組みを行う。

今後、地元住民や茶業関係者と意見交換を行いながら、モデル地区における具体的な施策を検討していく。

【モデル地区の候補地】

